

『生活者としての外国人』との共生社会 多文化共生社会の実現を考える公開セミナー

zoom

受講料無料

共
催

東北ブロック

一般社団法人
ふくしま多言語フォーラム

関東ブロック

インターカルト日本語学校
日本語教員養成研究所

東海ブロック

Semiosis株式会社

九州ブロック

専修学校
久留米ゼミナール日本語学科

沖縄ブロック

ICLC 国際言語文化センター
附属日本語学校



2020年
12月13日
日曜日

東北ブロック

『生活者としての外国人就労者と日本語教育』～わかりやすい日本語でコミュニケーションを～

開催時間 14:00 ~ 16:00



※会場でも受講できます。受講を希望される方は、お席に限りがございますので、お早めにお申し込みください。

2021年
1月17日
日曜日

関東ブロック

『生活者としての難民の皆さんと共に』～日本語の学習が人生を豊かにする～

開催時間 13:00 ~ 15:00



2021年
2月7日
日曜日

東海ブロック

『生活者としての外国人児童の人生選択』～可能性を広げる学習の役割～

開催時間 13:00 ~ 15:00



※会場でも受講できます。受講を希望される方は、お席に限りがございますので、お早めにお申し込みください。

2021年
2月20日
土曜日

九州ブロック

『生活者としての日本で学ぶ留学生たち』～共生社会を担うグローバル人材～

開催時間 13:40 ~ 15:40



2021年
3月6日
土曜日

沖縄ブロック

『生活者としての日系人と“Nikkei“』～アイデンティティと生活基盤を求めて～

開催時間 13:40 ~ 15:40



お問い合わせ

主催：インターカルト日本語学校 日本語教員養成研究所

〒110-0016 東京都台東区台東 2-20-9

TEL (03) 5816-5019

WEB www.incul.com

受講を申込み



お申込み用QRコード

introduction

令和2年度、私たちは文化庁より「日本語教育人材研修プログラム普及事業」を受託し、今、東北、関東、東海、九州、沖縄の各ブロックで協働し、「生活者としての外国人」に対する日本語教師初任研修を進めています。そして同時に、「日本語教育」から一歩踏み出し、もっと大きな視点で多文化共生社会を考えようと、「生活者としての」様々な立場の外国の方たち、外国人就労者、難民、外国人児童、留学生、日系人のことを知り、考えるためのセミナーを各ブロックが企画しました。

多文化共生社会とは、「国籍や民族の異なる人々が、互いの違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら生きていける社会」のことです。日本が今まさにその社会に向かっていることは、私たちの誰もが感じていることだと思います。これから多文化共生社会を実現していく一人として、ぜひご参加ください。

seminar

外国人
就労者

2020年
12月13日(日)
14:00 ~ 16:00

東北ブロック 一般社団法人 ふくしま多言語フォーラム

わかりやすい日本語でコミュニケーションを

このセミナーでは、生活者としての就労者について、特に日本語教育の観点から考えていきます。外国人就労者(技能実習生を含む)は実際にどのような仕事をしているのでしょうか?毎日の生活は?日本語学習は? 当日は、(公財)国際人材協力機構の元日本語指導アドバイザーの山口千秋さんをゲストにお迎えし、トークセッションを行います。技能実習生の日本語教育の最前線にいた山口さんから、彼らにとって本当に必要な日本語とは何かについて語って頂きます。



難民

2021年
1月17日(日)
13:00 ~ 15:00

関東ブロック インターカルト日本語学校 日本語教員養成研究所

日本語の学習が人生を豊かにする

日本に暮らす難民の方たちについて、私たちは何をどれくらい知っているでしょう。ミャンマーの少数民族を支援するNPO法人PEACEのマリップ・センブ理事長、長年にわたり政策面で難民支援をする中川正春衆議院議員のほか、日本語を学ぶ人、教える人、支える人と共にこれからの共生社会について考えます。テーマは「日本語の学習が人生を豊かにする」、日本語教育に携わる人だけでなく、広く日本中の皆さんに参加していただきたいと思っています。



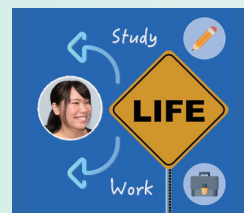
外国人
児童

2021年
2月7日(日)
13:00 ~ 15:00

東海ブロック Semiosis株式会社

可能性を広げる学習の役割

子どもたちが「自らの選択」に基づいて人生を歩んでいくことは、非常に重要なことです。しかし、外国人児童がこのような人生を歩んでいくには、さまざまな困難が存在します。このセミナーでは、外国人児童のインタビューをもとに、専門家や現場の人の声も交え、外国人児童に対して適切な「チャレンジの機会」が与えられるために必要なことや、私たちが日本人としてできることが何であるか、ということについてみなさんと考えていく予定です。



留学生

2021年
2月20日(土)
13:40 ~ 15:40

九州ブロック 専修学校久留米ゼミナール 日本語学科

共生社会を担うグローバル人材

コンビニでよく見かける外国人。彼らのほとんどは、将来日本企業に就職することを夢見る留学生です。留学中に学ぶのは、専門知識や技術だけではありません。様々な出会いや生活の中で、日本人の価値観や生活習慣に触れることで、日本社会に適応していきます。当セミナーでは、その後の彼らがグローバル人材として活躍する姿、そして彼らの目に映った日本を知り、外国人との共生社会の在り方について考えます。



日系人

2021年
3月6日(土)
13:40 ~ 15:40

沖縄ブロック 国際言語文化センター附属日本語学校

アイデンティティと生活基盤を求めて

「移民県」沖縄では、海外出身の日系(沖縄県系)人が少なからず生活しています。沖縄県では、ルーツの地に「還流」するそうした人々を同胞ととらえる一方で、海外の沖縄系コミュニティとのネットワーク強化を政策的に行っています。ルーツの地でアイデンティティを模索しつつ生活基盤を確立しようとする生活者としての日系人に焦点を当て、様々な背景を持つ人々の言語文化に関する現状と課題を共有し、多文化共生社会の在り方を考えます。

